

倉敷市歴史文化基本構想【概要版】



平成 28 年 12 月
倉 敷 市

■ 「倉敷市歴史文化基本構想」策定の背景と目的

倉敷市には、岡山県ひいては我が国を代表する文化財が見られると同時に、市内各地域においても地域性を反映した歴史文化が受け継がれています。これらは、歴史文化を感じられる豊かな暮らしを作り出すとともに、市民の地域への誇りや愛着を育む源となっています。

しかし、一方で、社会情勢・生活様式の変化などの中で、存続・継承の危機に瀕している文化財も見られます。また、地域間競争が激化する中で、今後、より一層倉敷市の歴史文化の魅力をまちづくりや観光振興等に活かしていくことが求められています。

このような背景を踏まえ、倉敷市の歴史文化の豊かな環境を守り、育み、活かす取り組みを市全域に展開し、地域の魅力と活力の向上につなげていくことを目的として、歴史文化を活かしたまちづくりのためのマスタープランとなる「倉敷市歴史文化基本構想」を策定しました。

倉敷市の豊かな歴史文化



抱えている課題…

社会情勢・生活様式の変化／人口減少・少子高齢化／地域間競争の激化 など



倉敷市の歴史文化をまちづくりに積極的に活かしていくことが求められている

「倉敷市歴史文化基本構想」の策定

■ これからの文化財保護行政

これまでの文化財保護行政は、指定等を受けている文化財の保存・活用を主としていました。今後は、「倉敷市歴史文化基本構想」に基づき、指定等を受けている文化財だけでなく、指定等を受けていない文化財、さらにはそれらの周辺環境も含めた保存・活用を推進していきます。

これまでの文化財保護行政の対象

指定等文化財

これからの文化財保護行政の対象

指定等文化財

指定等を受けていない文化財
文化財の周辺環境

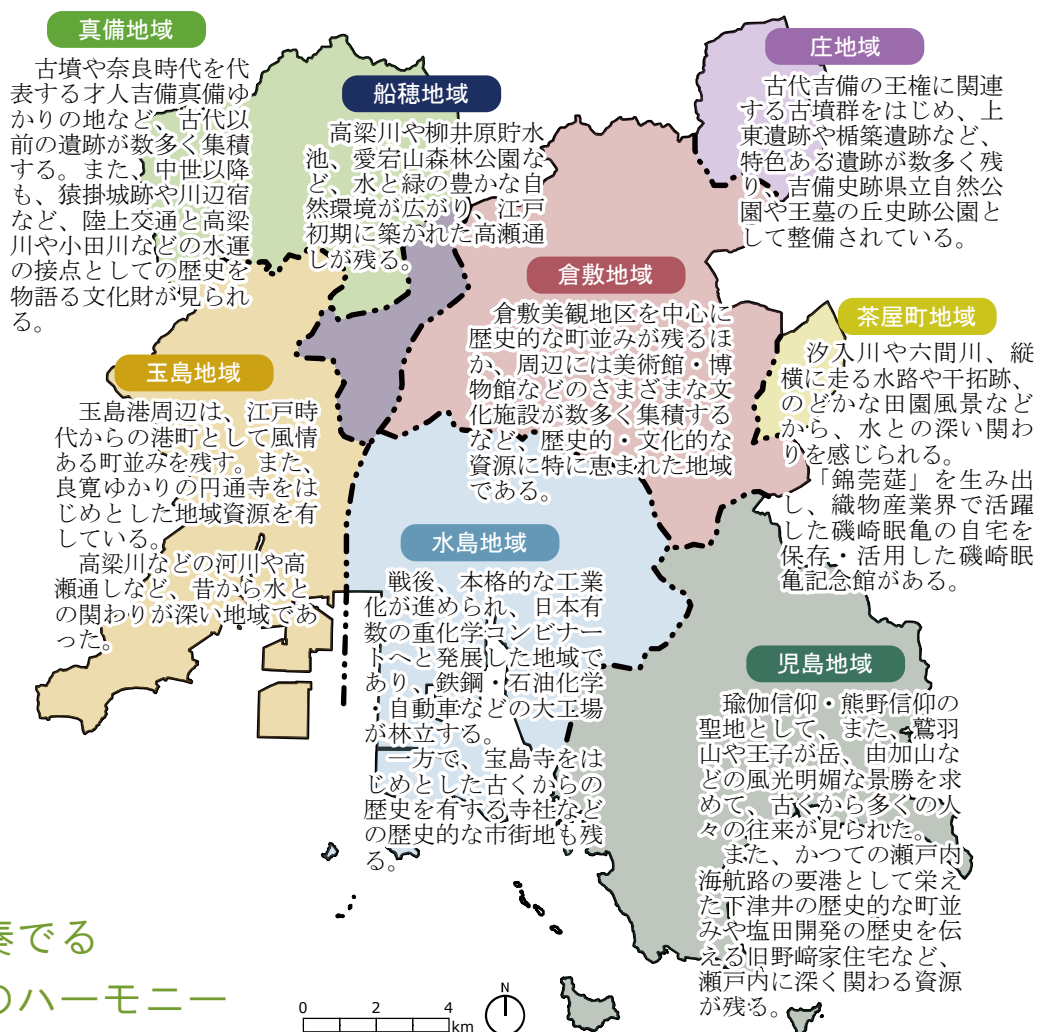
倉敷市には時代の変化や移ろいを感じられる文化財が数多く見られます。これは、政治や交通の要衝であったことに加え、海と川を通じた他地域との交流・交易の中で、新たな文化を吸収し、生業や伝統の技として磨きをかけていったことに起因しています。また、その過程において、各地域で育まれた民俗や自然・伝統がつくる美観を大切に受け継ぎ、教養や文化を高め、文教の地として成熟してきました。

このように、倉敷市の歴史文化は、新しいものを取り入れながらも、固有の自然環境を活かして育んできた伝統を守り、両者を融合させていく取り組みを原点としており、その特徴は次のように整理できます。

進取の気風と新旧の調和の精神のもとに 育む風格ある歴史文化

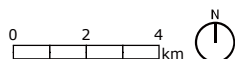
倉敷市は合併を繰り返す中で広大な市域を有し、また、多様な歴史文化をもつ地域を包含する都市へと展開してきました。

大きく捉えると、倉敷市は「倉敷」「児島」「玉島」「水島」「庄」「茶屋町」「船穂」「真備」の8つの地域で、それぞれ異なる歴史文化の特徴が見られます。



8つの地域が奏でる

歴史文化のハーモニー



倉敷市民、専門家、行政などのさまざまな主体が協力して、歴史文化を活かしたまちづくりを推進するための目標を次のとおり設定します。

～ 目 標 ～

歴史文化を活かした地域の魅力と活力の向上

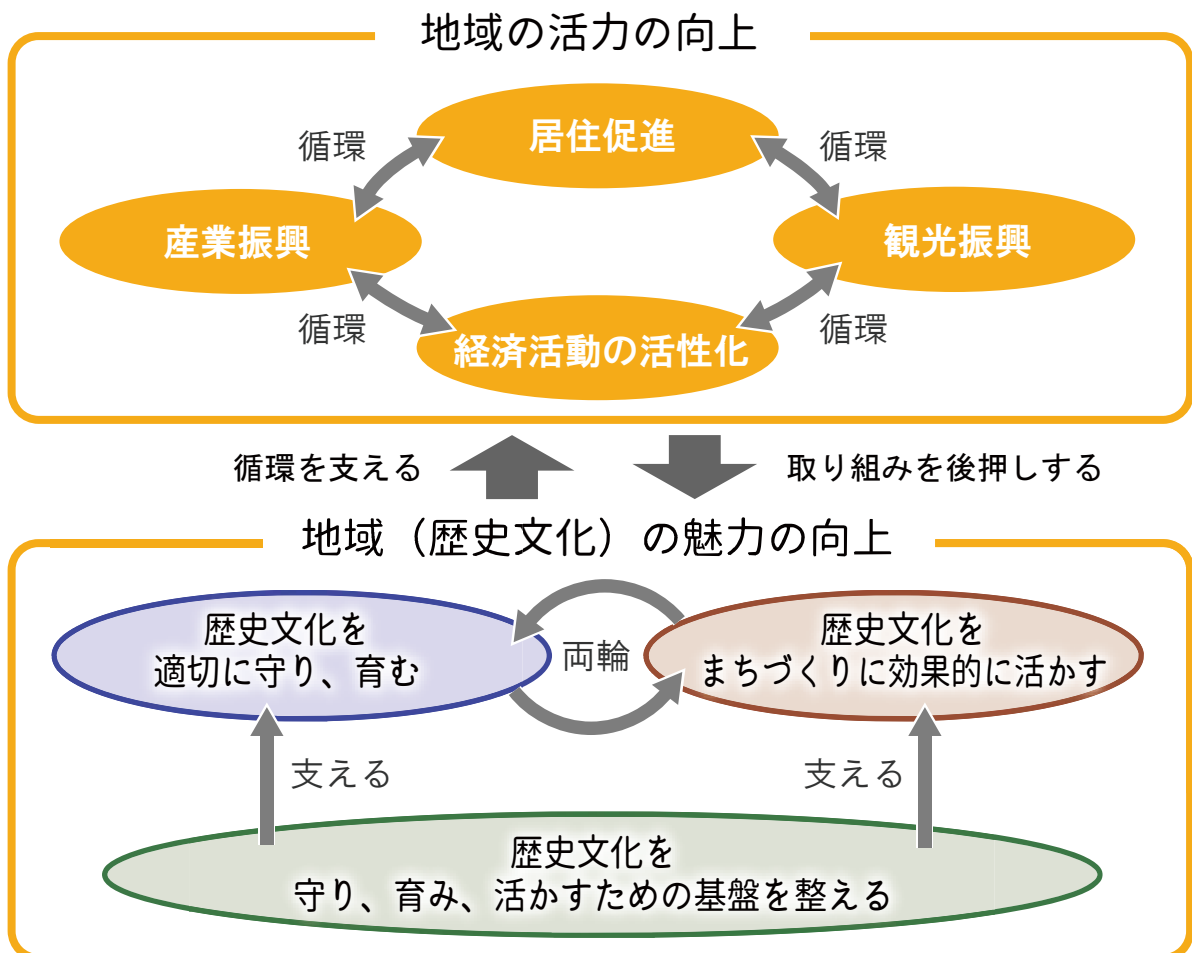
次の3つの方針のもとに、相互に連携した取り組みを進めることで、「居住促進」、「産業振興」、「経済活動の活性化」、「観光振興」を相互に循環させることによって、目標の実現化を図っていきます。

～ 方 針 ～

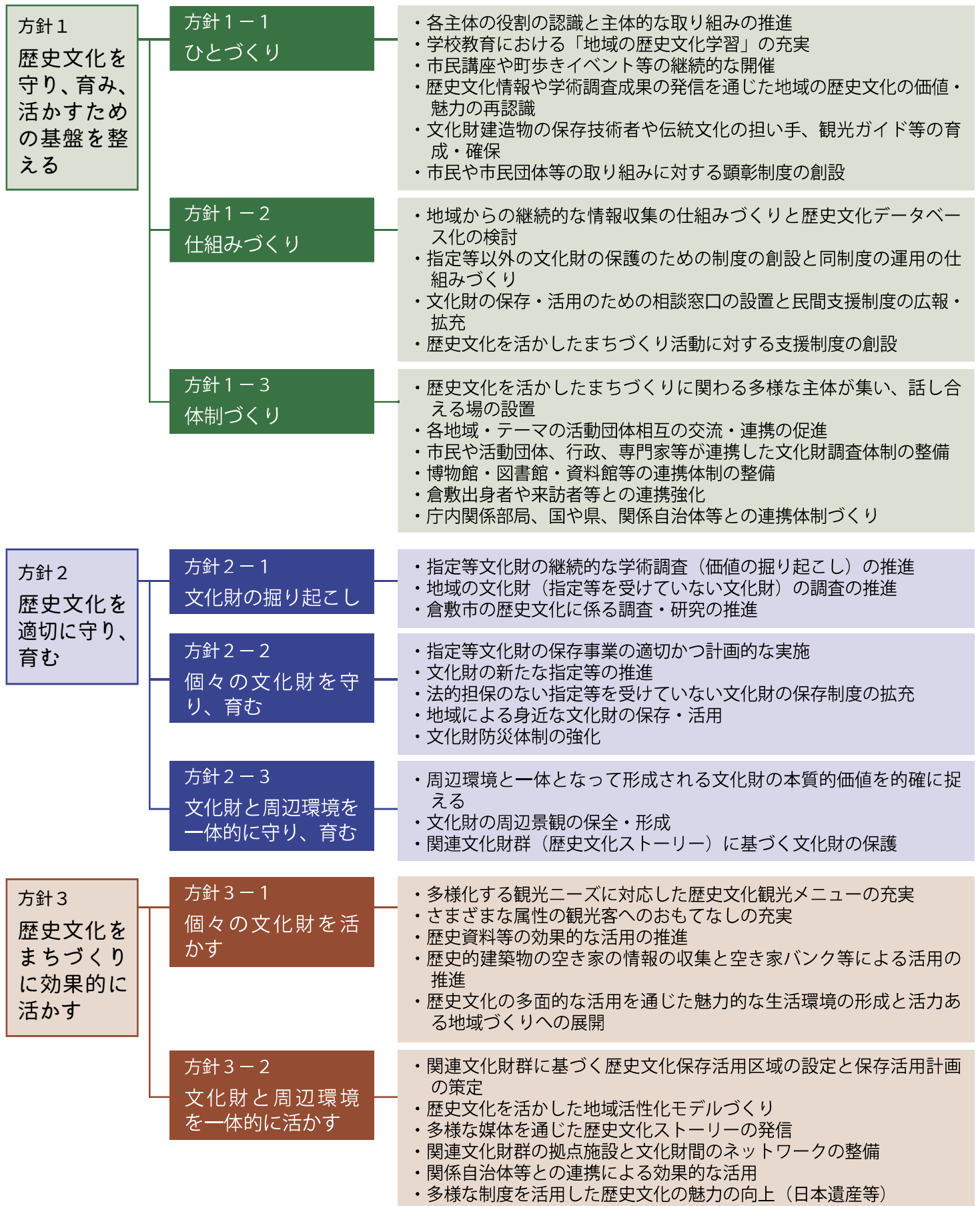
方針1 歴史文化を守り、育み、活かすための基盤を整える

方針2 歴史文化を適切に守り、育む

方針3 歴史文化をまちづくりに効果的に活かす



施策の体系



関連文化財群

関連文化財群とは、「有形・無形、指定・未指定を問わず、地域に存在するさまざまな文化財を、歴史的、地域的な関連性等に基づいて一定のまとまりとして設定するもの」です。

倉敷市では、次の5つの関連文化財群を設定し、歴史文化を活かしたまちづくりを戦略的かつ効果的に進めます。

関連文化財群

①

暮らしと文化を支える 流通・交易

吉備の穴海や瀬戸内海、高梁川・倉敷川等、さらには山陽道等の陸路を介した広い地域との交易が、原始・古代から現代まで受け継がれてきました。

海・川と陸の流通・交易のせめぎあい、そして相互のつながりが倉敷市の歴史文化の基盤となり、形を変えながらもその発展を支え続けています。

②

魅力と活力を育む 殖産の精神

先人たちの殖産の精神は、各時代背景を反映しながら地域の産業・生業を革新・発展させ、活力ある歴史文化を作り出してきました。

その精神は現代に受け継がれ、歴史文化により一層磨きをかける取り組みが進められています。

③

地域の個性を 反映した信仰

児島五流を中心とした熊野信仰や瑜伽山信仰をはじめ、倉敷市内の社寺には、海と山との関係の深いものが多く見られます。

神仏への信仰は、参詣の道筋の町場を発展させるとともに、各地域においては、生活や生業、伝承や民話などを反映した祭礼・行事等として受け継がれ、ハレの景観を作り出しています。

④

要衝の地に 刻まれた記憶

畿内と西国を結ぶ要衝に位置する倉敷市では、我が国の歴史の本流に大きく関わりながら歩みを続けてきました。

そこに育まれてきた史実や説話・伝承などの記憶は、遺跡や町並みなどをより魅力的なものとし、多くの人々を惹きつけるものとなっています。

⑤

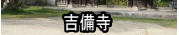
文教・美観が織りなす 豊かな暮らしと観光

備讃瀬戸をはじめとした美しい自然景観は、古くから多くの人々を誘い、文学芸術活動の場となってきました。一方で、早くから学問や文化・芸術が息づく中で、多くの偉人を輩出するとともに、自然や町並みを守り、豊かな暮らしを育んできました。

人々の往来は、多様な民芸品や食文化等を育む礎となり、近年では、その文教や美観を活かした観光振興や大学連携、環境学習など、文教都市としての新たな展開を見せています。

歴史文化ストーリー

5つの関連文化財群の中でも、特に、特定の時代や地域、テーマなどに特化した12の歴史文化ストーリーを設定することで、多くの市民が理解・共有しやすく、具体的な活動の展開を促せるものとしていきます。

歴史文化ストーリー	主な構成文化財		
海と川を介した流通・交易	- 瀬戸内海とかつての吉備の穴海 - 高梁川、倉敷川、高瀬通し（一の口水門等） - 旧石器・縄文・弥生・古墳・奈良の各時代の遺跡 - 倉敷美観地区・天城・藤戸・下津井・玉島の町並み - 水島港		
陸上交通による人や物資の往来	- 古代山陽道と駅家 - 廃寺や箭田大塚古墳、吉備寺、鯉喰神社等 - 近世山陽道（西国街道）と川辺宿 - 鉄道網、下津井鉄道跡等 - 瀬戸大橋		
干拓と農業	- 宇喜多堤、水門・樋門、高梁川東西用水取配水施設 - 六間川、水路網 - 連島れんこん・ごぼう等		
海・里・山の恵みを活かした殖産	- 旧野崎家住宅、野崎家塩業資料館等 - 花庭（錦兜庭等）・磯崎眠亀記念館、箭田の竹林・荀栽培、除虫菊、造り酒屋、果樹栽培、漁業等		
繊維産業の展開と継承	- 備中綿の栽培、綿問屋等 - 紡績工場跡・倉敷アイビスクエア等 - 真田紐、足袋、畳縁、緞通、帆布、学生服、ジーンズ等		
信仰の聖地	- 新熊野山、熊野神社、五流尊瀧院、蓮台寺、由加神社等 - 瑜伽山・金毘羅の両参り - 由加門前町、土産物の生産・販売等		
地域性を表す信仰と祭礼・行事	「延喜式」式内社をはじめとした各地域の神社 - 各地域の寺院と仏像 - 神社や寺院を中心とした祭り・行事等		
勢力の狭間	- 古代勢力を物語る古墳群や古代寺院跡等 - 頼仁親王墓、後鳥羽院供養石造宝塔等 - 下津井城跡、倉敷代官所跡、旧柚木家住宅等		
天下分け目の戦乱	- 水島・藤戸の古戦場 - 中世城館 - 備中高松城水攻め・猿掛城跡等		
まちの発展を支える水島臨海工業地帯	- 水島臨海工業地帯 - 水島臨海鉄道 - 亀島山地下工場等の戦跡		
景勝を守り、育み、活かす心	- 鷺羽山・王子が岳からの備讃瀬戸の多島美、象岩 - 沙美海岸、恵池 - 倉敷美観地区 - 銘菓や郷土料理、工芸品・民芸品等		
文教が息づくまち	- 吉備真備に係る伝承 - 心字講釈の開催場所となった寺院、倉敷教諭所、学問書や私塾等 - 大原美術館・児島虎次郎記念館、倉敷民藝館、倉敷考古館 - 横溝正史疎開宅 - 三島中洲や川田蘆江などの人材の輩出		

※ この他にも、各地域で受け継がれる数多くの文化財によって、歴史文化ストーリーは構成されています。

施策展開の方向性

構想の実現に向けて、「歴史文化を活かしたまちづくりの考え方」で示した主な取り組みについて、まちづくりや地域づくりに係る諸政策との連携・調整のもとに、以下のスケジュールにより、短期（～５年程度）から中長期（５年程度～）にわたる持続的な取り組みを推進します。

方 針		主な具体施策	
		短期（～５年程度）	中長期（５年程度～）
方針１ 歴史文化を守り、育み、活かすための基盤を整える	方針１－１ ひとづくり	学校教育における地域の歴史文化学習に係るカリキュラムづくり 副読本の更新・充実 市民講座・町歩きイベント等の継続開催 保存技術者育成事業の創設 観光ガイド育成事業の創設	倉敷市歴史文化まちづくりポータルサイトの創設 顕彰制度の創設
	方針１－２ 仕組みづくり	指定等以外の文化財の認定・登録制度の創設 文化財保存・活用相談窓口の設置 歴史文化まちづくり団体の登録制度・支援制度の創設	歴史文化データベースづくり
	方針１－３ 体制づくり	歴史文化まちづくり広場（多様な主体の意見交換の場）の設置 歴史文化を活かしたまちづくりに係る庁内検討組織の設置	出身者や来訪者との連携推進のための施策
方針２ 歴史文化を適切に守り、育む	方針２－１ 文化財の掘り起こし	指定等文化財の学術調査の継続実施 地域の文化財の掘り起こし事業の継続実施 倉敷市歴史文化調査・研究の実施	
	方針２－２ 個々の文化財を守り、育む	文化財の新たな指定等の推進 指定等以外の文化財の保護に対する支援制度の創設 民俗芸能や伝統技術等の記録作成の重点実施 地域・地区レベルの防災計画づくり	
	方針２－３ 文化財と周辺環境を一体的に守り、育む	文化財周辺の景観整備の重点実施	文化財保護のための事前評価システムの構築
方針３ 歴史文化をまちづくりに効果的に活かす	方針３－１ 個々の文化財を活かす	歴史文化観光メニューの充実 個々の文化財を解説する外国語パンフレットの作成 歴史資料等の活用体制の整備 歴史的建造物を対象とした空き家バンク制度の創設	歴史文化産業づくりの推進
	方針３－２ 文化財と周辺環境を一体的に活かす	歴史文化保存活用区域における保存活用計画の策定 歴史文化ストーリーの発信（Web発信やパンフレット作成等） 関連文化財群の拠点施設づくり 回遊性向上のための交通システムづくり 歴史的風致維持向上計画の策定 「日本遺産」の認定による各種観光振興施策の推進	